



楽しみながら
仲間づくり &
生きがいづくり
西堀町 山本 文彦

平成31年2月17日、「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い2019」第2分科会のテーマは、「楽しみながら『仲間づくり&生きがいづくり』」松本山雅を活かした地域づくりの取り組み」でした。内容は松本山雅FCのホームタウン活動の具体的な取り組み、神林地区の取り組み、中央地区山雅を応援する会の取組み、それぞれ紹介され、参加者がグループごとに分かれて話し合いをしました。

神林地区はスタジアムのお膝元ということもあって、山雅街道沿いに「応援のぼり旗」の作成・掲揚、サンプロアルウィン周辺の草刈りやゴミ拾い、ひまわりプロジェクト、神林神社氏子総代会の勝守の作成配布、「松本山雅田」の田植え・稲刈り等々、他地区ではとても真似できないくらい多種多様な活動を行っており、その様子は度々



分科会の様子

メディアでも取り上げられていたところ。中央地区では平成29年2月に松本山雅FC誕生のきっかけとなった「喫茶山雅」が緑町に復活誕生（駅前再開発以前は駅前にも有り）しました。山雅のチームカラーが緑であることも相まって地区との交流が始まりました。市内いくつかの公民館で開催されている「居酒屋公民館」、中央地区でも毎月行われていますが、年1〜2回は「喫茶山雅」でそれを開催山雅サポに加えサッカーを知らない人やみんなとワイワイ飲みたい人も集まって交流を広げています。他には山雅を知らない人やまだサンプロアルウィンへ行つたことのない人に山雅を知ってもらおうと、バスターミナルまで歩いてシャトルバスを利用し、試合観戦前にスカイパークを1時間程度歩く「山雅ウォーク」を実施しました。

神林地区はサンプロアルウィン、中央地区は喫茶山雅とそれぞれ山雅のランドマーク的な設備があり、それらを地域づくりの核として「楽しみながら」仲間をつくり、地域の活性化を目指す、という点で両地区ともコンセプトは共通しています。市内各地区それぞれ地域特性があり人も少ないといった悩みがあると思いますが、大事なことは山雅に興味があっても公民館活動や地域づくりには関心がない、または公民館にはよく来るが山雅はよく知らないといった人々を巻き込んで、ワイワイ飲んだり食べたりしながら、地区のことや困り事など様々な会話で交流を広げることだと思えます。

たまたま偶然にもこの分科会の参加者の中に某町会内のお互い知らない同士の山雅サポーターが2名いることが分かって早速繋がりが始まりました。今年はJ1リーグ戦でメディアの取り扱いも多く盛り上がりつつあります。地域で何かを始める絶好の機会ではないでしょうか。

長元坊 ちんちん

新聞で「きらず」という言葉を見つけ、明治生まれの祖母を思い出しました。祖母はおからのことを「きらず」、ゆかたのことを「もうか」と言っていました。おからは切らずに食べられるから、もうかは栃木県の真岡市が昔ゆかたの産地だったことが最近分かりました。今思えば祖母はなかなか味のあることを言っていました。「一年中同じ顔をしていられる人が一番偉い人」だとか、「人に物をあげたらけっしてお返しを期待してはいけない」、また、祖母の口癖は「張子のトラじゃあるまいし」でした。生きているのだから暑い寒い痛いいと少しのことでも文句を言うなどというのです。また、心や友人関係の悩みは、もつれた糸をほぐすのは大変だから両端で切ってしまう考え方をすると案になるとも教えてくれました。

その頃は治療院もあまりありませんでしたから、コップの中でマツチを擦り真空にして痛いところに当てていました。お肉が盛り上がり、血行が良くなつたのでしょね。今治療院で同じ原理の吸角医療を見て驚きました。今はインターネットで何でも検索できます。塩とアドバイスは求められなければ入れてはいけないといえますから、年寄りが口出しするのも遠慮します。でも心の悩み・心のひだに染み入るアドバイスは人生経験豊かな人に相談するのが良いと思います。

今年も元号も変わり昭和はますます遠くなりけりですが、まだまだこれから昭和の出番ですよ...? (A・S)

公民館活動推進功労感謝状

今町2丁目町会の落沢正紀さんが、「平成30年度松本市公民館活動推進功労者」に選出され、感謝状が贈呈されました。落沢さんは長年に渡り館報編集委員長として館報の企画・編集に携わり、公民館活動の推進に寄与されました。館報編集委員会では、大手公民館の事業や地区の様々な出来事を読者の皆さんに伝えるとともに、中央地区の今を記事にし、将来へ残してまいります。館報で紹介したいことなどがあれば、編集委員会までご連絡ください。編集委員がいつでも取材に伺います。

公民館からのお知らせ



◆中央地区お花見会

日程 4月6日(土)
時間 11時00分～
場所 大手公民館大会議室
参加費 1人300円
 参加される方は大手公民館までお申込みください。

◆平成最後の日と新元号最初の日を写そう!

写真コンテストを開催します。平成最後の日となる4月30日(火)と、新元号最初の日である5月1日(水)に、中央地区の街並み、イベント、家族の様子、未来へ残したい物事などを撮影しよう!

応募要件・応募方法など、詳細は大手公民館へお問い合わせください。

◆居酒屋公民館

今年度も居酒屋公民館におでかけください。

日程 毎月第3金曜日
 4月は19日に開催します。
時間 18時00分～
場所 大手公民館講座室
参加費 1人100円
持ち物 自分で飲みたいもの・食べたいもの一品以上
ルール 皆で準備と片付け

※その他 申込み不要。老若男女大歓迎。毎回生ビール(二杯300円)の用意があります。お問い合わせは大手公民館まで。

◆下校時見守り活動に参加しませんか?

中央つ子応援団では、開智小学校の児童の下校時に、見守りボランティアをしています。子ども達の方を募集しています。

子ども達の下校時(15時～15時30分頃まで)に、信号の無い交差点等で見守り活動を行います。月1回程度を予定、下校時間に出る見守ったり、玄関先に出て見守ったりするだけでも大歓迎。子ども達を地域でも育てていきましょう。ご協力いただける方は大手公民館まで。



下校時の見守り



みんなでワイワイ!居酒屋公民館!

◆読者の皆さんの声をお聞かせください。昔の生活の様子や、新しく引越してきた地区のことが良く分からない、日頃思うこと、大手公民館や町内公民館での活動を通して思うこと、得意なこと、趣味のことなどなど、皆さんのことを館報でも紹介することが出来ます。仲間を集めたい、生きがいのある生活がしたいなど、公民館でお手伝い出来ることがあれば、お気軽にお声かけください。

(大手公民館 ☎39-5711)

館報編集委員会から

3月6日(水)に館報編集委員会が開かれました。今回の館報の内容について、記事の読み合わせです。実際に読んで、誤字脱字がないか、文脈が自然か、言い回しがおかしくないか確認します。掲載する写真とコメントについても協議します。

記事を読んでいると、編集委員の皆さんから色々な話が出て脱線します。昔のこと、町会のこと、近所に出来たお店のこと、公民館行事のこと、松本山雅FCのこと、可愛い孫のこと…。その中には記事に出来るものもあります。「いいですよ!」いざ記事の内容を考えよう!、ちょっとした話から出るより、ちょっとした話から出てきたことの方が記事になります。意外なものです。

脱線をしながら、読み合わせは進みます。

読み合わせを一通り終わらせ、次回号の記事について少し触れ、本日の委員会はお開きとなりました。

そして、委員会の後のお楽しみ、懇親会です。こちらは誰も脱線なんて言いません。話は盛り上がり、また記事の候補が一つ、二つ増えていきます。

松本城の野鳥たち ④7

灰色のものが普通だが、様々な色や模様がある。

外来種。全長33センチメートル。飼われていたハトが野生化したもの。市街地に多く、キジバトより群れになる性質が強い。建造物に巣を作る。松本城周辺では、カラスに縄張りを取られて最近多く見られない。

(一部日本野鳥の会ホームページより引用)



写真は岡田在住の久保田佐久良さんが松本城周辺で撮影

編集委員紹介

- ◎ 箕輪 徹朗 (鷹匠町)
- ◎ 久保田忠史 (松栄町)
- ◎ 澤田 昭子 (上土町)
- ◎ 藤森 安子 (上土町)
- ◎ 宇留賀 勝 (北土井尻町)
- ◎ 委員長